

千葉大学医学部附属病院で
冠攣縮性狭心症の診断のために
アセチルコリン負荷検査を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月28日

循環器内科

循環器内科では、アセチルコリン負荷検査（カテーテル検査）を受けられた冠攣縮性狭心症疑いの方についての研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方や、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2012年1月1日から2025年11月30日の間に、冠攣縮性狭心症（かんれんしゆくせいきょうしんしょう）の診断のためアセチルコリン負荷検査が行われた方

1. 研究課題名

「冠攣縮性狭心症診断のためのアセチルコリン負荷検査の合併症および診断精度の検討」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

冠攣縮性狭心症は、心臓に酸素や栄養を供給する血管（冠動脈）が一過性に収縮することで引き起こされる疾病です。冠攣縮性狭心症では胸痛などが生じることで、生活の質が低下します。冠攣縮性狭心症が疑われる方において、その診断のために冠攣縮誘発検査（アセチルコリン負荷検査）が推奨されていますが、75歳以上の高齢の方における合併症や診断の精度が十分に検証されていません。本研究においては、下記（5. 研究組織）に記載の施設でデータを収集し、氏名など個人を特定できる情報を削除したうえで、千葉大学医学部附属病院に情報を集約し、解析を実施します。

氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

本研究では、過去の通常の診療において記録された、診療録に記載されている情報を収集します。これには、年齢、性別、喫煙習慣、病歴、使用していた薬剤、血液検査、画像検査、カテーテル治療後の経過などのデータが含まれます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	齋藤 佑一
共同研究機関名	研究責任者
千葉県済生会習志野病院	松本 忠浩

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院 循環器内科および共同研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページ、共同研究機関ホームページを参照下さい。

千葉大学 URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>

千葉県済生会習志野病院 URL : <http://www.chiba-saiseikai.com/>

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも、不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科（助教）齋藤 佑一

043（222）7171 内線 6390